

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

経営会議の透明性は信頼感を生むカギ 藤江 太郎(味の素社長)

- 1985年に味の素に入社し、人事部に配属された。あの頃と比べると人事部はいろんな進化を遂げていると思う。当時は1つの目標に向かい、愛社精神を育みながら均一な組織をつくることが求められた。今は一人ひとりの考えを認め、多様性を大事にして企業の価値を上げていくことが重要になっている。
- ただ、今の人事は人員に対して仕事量が多すぎる。「失われた30年」の間に人員は削減され、人件費も抑制された。ただ業務の整理は不可欠だ。あれもこれもやろうとしてはいけない。私は「やらないことを決めよう」と話している。例えば、2023年2月には中期経営計画の企画をやめ、独自指標への切り替えを発表。評価制度は部門評価をやめるなどした。やめてみて、問題があれば戻せばいいのだ。
- 僕は労働組合の専従を10年間勤めていた。当時、会社に「組合員をもっと団体交渉にオブザーバーとして参加させてくれ」と要求したが、「絶対に嫌だ」と却下された。自分が社長になった今は団交をオープンにしている。その方が真剣に議論している状況を理解してもらえ、経営に対する親近感も生まれる。経営会議をオープンにしている。透明性は信頼感を生むためのカギだと思っている。

(参考:「日経ビジネス」2024年9月9日号)

経営者のための社会学

身の丈に合った生活で老後の不安解消

柏木 理佳 (立教大学特任教授)

- 老後2000万円問題が話題になって以降、世間では老後の生活費を心配する声が増え、後を絶ちません。しかし実は、統計によると60代以降で買い物が増えており、生活に余裕が出ているという傾向が見られます。年代別に見ても50代は消費支出額が前年比6%以上も減少しているのに、60代の減少率は1%台と低く、70代はむしろ増加していて、消費の内容からは楽しみながら買い物をしていることがわかります。
- 支出を増やさずに節約すれば、さらに生活は楽になるでしょう。ちなみに、高齢者の毎月の支出の合計は、60代前半は31万1453円、後半は30万1705円です。70代前半は27万2657円、後半は、24万5107円、80代前半は22万4648円に減ります。ということは、年金や個人年金などを合わせて15万円受け取れるとすると、月5万~10万円のアルバイトをすれば支出は賄えることになります。過度に不安を抱き、身を縮めた生活をする必要はないということです。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2024年9月28日号)

海外事情

インドが熱い「脱中国」で脚光

- 国際協力銀行が日本の製造業向けに「長期的な有望国」の調査で、インドは中国を突き放し断トツとなった。有望国と目される理由の一つは人口だ。インドの人口は23年に14億2860万人で、中国を抜いて世界一になった。しかも、年齢の中央値は27.9歳(22年時点)。四半世紀後の50年になってもなお38.1歳と、働き盛り世代がボリュームゾーンを占める。
- 1人当たりの平均所得水準は現在2500ドル前後。日本の1970年代初頭と同程度だが、年間約10%ずつ拡大しているとされ、個人消費はうなぎ登りだ。00年に世界13位だったインドのGDP(国内総生産)は、24年見通しでは日本に次ぐ5位。5年後の29年には日本とドイツを抜き、米国、中国に次ぐ世界3位の経済大国になると予測されている。

(参考:「週刊東洋経済」2024年9月7日号)

古典に学ぶ

菩薩とは何か

- ある人に「菩薩とは何か」と問われて、空海は「大日経」で説かれる「三句の法門」を引用してこう答えました。
- 菩薩とは、悟りを求める心(菩提心)から始まり、限りない慈悲(大悲)を基本とすし、そこから生まれる行動(方便)をもっとも大事にする。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)